

最優秀賞（一・二年の部）

おべんとうリレー

西会津町立西会津小学校 一年 渡部 花乃

「かのちゃん、ちょっときて。」だいどころから、おとうさんのこえがきこえてきました。わたしはそのこえのあいずをいつもこころまちにしています。

「おべんとうのひだ。」

わたしのおとうさんは、いつもわたしのすきなおかずをたくさんいれてくれて、つめるときにはきせつにあったおべんとうにしてくれます。はるはひなまつりべんとう、なつはおにぎりをうきわのかたちにしたかいすいよくべんとう、あきはうさぎがもちつきをしているおつきみべんとう、ふゆはさんたのおじいさんがわらっているくりすますべんとう。わたしは、どのおべんとうもだいすきです。

だいどころによばれたわたしのしごとは、さいごのしあげときんちゃくぶくろにおべんとうをいれることです。おとうさんがつくってくれたおべんとうをていねいにしあげをし、かたちをくずさないようにきんちゃくぶくろにいれることはとてもきんちょうします。あるとき、わたしはおとうさんに「なんで、たのしそうにおべんとうをつくっているの。」ときいてみました。おとうさんは、「かのちゃんがおなかをすかせてべんとうのふたをあけたときのよろこんだかおをそうぞうしてつくっているんだよ。」とおしえてくれました。

わたしは、はるからしようにくせいになり、いまではじぶんのえぷろんをきておとうさんとだいどころにたっています。たまごをわるしごともしました。まだ、ぜんぶはつくれませんが、いっしょうけんめいれんしゅうをして、いつかおとうさんのおべんとうをつくりまします。おとうさんのよろこんだかおをそうぞうするといまからのしみです。